$M_{CO_2,ref}$	基準CO_2質量［g］
M_{gas}	［gas］排気成分の質量［g］
$M_{gas,j}$	ウィンドウj内の［gas］排気成分の質量［g］
$M_{gas,d}$	［gas］排気成分の単位距離排出量［g／km］
$M_{gas,d,j}$	ウィンドウj内の［gas］排気成分の単位距離あたり排出量［g／km］
N_k	市街地、郊外又は高速道路の区分に対応するウィンドウの数
P1、P2	基準点
t	時間［s］
$t_{1,j}$	j番目の平均ウィンドウの先頭秒［s］
$t_{2,j}$	j番目の平均ウィンドウの最終秒［s］
t_i	ステップiの合計時間［s］
t_i	ウィンドウjを検討するステップiの合計時間［s］
tol_1	CO_2特性曲線の一次公差［%］
tol_2	CO_2特性曲線の二次公差［%］
t_t	試験の継続時間［s］
v	速度［km／h］
$\bar{v}$	ウィンドウの平均速度［km／h］
v_i	時間ステップiにおける実際の速度［km／h］
$\overline{v_j}$	ウィンドウjの平均速度［km／h］
$\overline{v_{P1}}$＝19.0km／h	WLTC低速フェーズの平均速度
$\overline{v_{P2}}$＝56.6km／h	WLTC高速フェーズの平均速度
w	ウィンドウの重み係数
w_j	ウィンドウjの重み係数

3.　移動平均ウィンドウ

3.1.　平均ウィンドウの定義

別紙４に従って計算した排出ガスの瞬時排出量を、基準CO_2質量に基づき、移動平均ウィンドウ法を用いて積算するものとする。

「平均ウィンドウ」とは、排出ガスデータを平均するためのデータサブセットいう。

１つの平均ウィンドウには、シャシダイナモメータ上における別添42ⅡのWLTC全走行で試験自動車が排出したCO_2質量の半分を排出するまでの期間におけるデータが含まれ、これらのデータについてデータサンプリング頻度に対応する時間の開始時点から順次移動平均計算を実施する。この計算は、始点から前進計算で行うものとする。

計器の定期検証中及びゼロドリフト検証後のデータ並びに試験自動車の速度が１km／h未満である際のデータは、CO_2質量、規制対象排出ガスの排出量及び平均ウィンドウの間隔の計算では検討対象としないものとする。

別紙４に従って計算したg／sを単位とする排出ガスの瞬時排出量を積算して、排出ガス質量$M_{gas,j}$を求めるものとする。

図１：速度対時間　１番目の平均ウィンドウから開始した平均排出量対時間

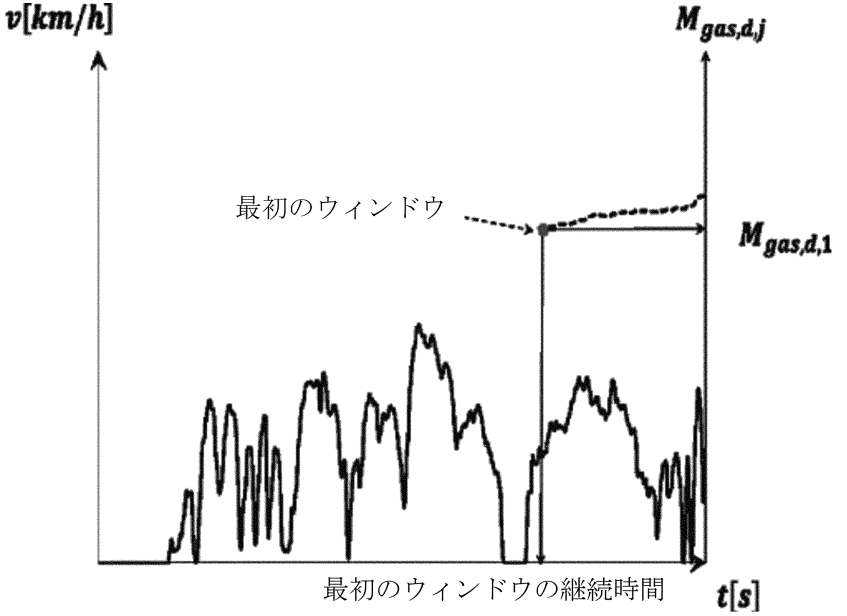


図２：平均ウィンドウに基づくCO_2質量の定義

